

# 雷の子

カトリック町田教会  
町田市 中町 3-2-1  
電話 042-722-4504  
FAX 042-722-4512

## いかずちの子

<http://www.machida-catholic.jp/>



今日、ダビデの町に、あなた方のために、救い主がお生まれになった。この方こそ、主メシアである。

(ルカ2・11)

## 光と闇のコントラスト

助任司祭 小田 武直

まもなく二〇二二年の主の御降誕を迎えます。この時期になると、クリスマスへの期待がより一層高まり、心に光が灯されるような気持ちを起こさせます。

私はキリスト者となる大分前から、このクリスマスに向かう季節が好きでした。秋が深まり、木々は葉を落とし、木枯らしの舞う季節。日暮れは近くなり、夕焼けは燃えるような茜色を残して、あつと

いう間に去っていく。もの悲しく、うら寂しい季節にあって、ある日、枯れ葉の街路樹に、きらめくようなイルミネーションが灯り出す。たちまち街の明かりが何ともいえないぬくもりを放って、胸に迫ってくる。自然が日に日に生氣を失い、寂しくなる中で、街の光が、人のぬくもりが、こんなにも温かく感じられるようになるなんて、不思議だなあと思いつながら心躍らせてお

りました。そして、実際、真冬の荒涼とした季節の極致にクリスマスを迎え、クリスマスケーキとサンタクロースのプレゼントに、心も体も、心底温められるのでした。

そのことは、キリスト者となり、救い主の到来を迎える、本来のクリスマスと出会ったとき、そこからあながちかけ離れた受け止め方でもなかったかなと思つたものでした。クリスマスの日、キリストはまさに荒涼とした寒空の下で、ご生誕にふさわしい宿もなく、貧しくお生まれになったのです。それは見るもの全てが寂しく枯れ果て、凍えるような世界であつたことでしょう。しかし、そのようなただ中であつたからこそ、神の子が世に与えられた光は、まばゆいばかりに輝き、見る人の胸に決して消えない喜びを刻み込んだのです。それは当時ごく少数の人々に与えられた恵みでありましたが、やがて、その光は世界中の人々を照らす光へと伝播していきました。

そのことよって、私たちが目指す希望や幸福には根本的な変化がもたらされました。それは私たちが通常、背を向けたくなる苦難、不幸、あらゆる闇の出来事から、世にも不思議な恵みが引き出され、逆に、私たちの誰しもが憧れる幸福、成功、充実から、たちまち魅力を失わせる、社会を根底から揺るがす変化です。そのような大変革は、神である御子が、人となって来て下さったことよって実現させ

## 生涯町田教会で

運営委員会(典礼委員長) 吉田 順

平成30年7月に大阪の香里教会から町田教会に転籍し、4年が過ぎました。35年前に転勤で大阪を出てから、岐阜、神戸、千葉、東京、大阪、東京、神奈川と移動しましたが、所属教会を決められずに、教会から遠ざかっていました。未信者だった妻は、プロテスタント系大学で牧師さんのゼミに入りキリスト教に感化されていたこと、私がカトリック三代目という家族で育った環境や、また大阪にいる私のカトリックの友人達との付き合

れたことです。すなわち、究極の幸福であり、充実である方が、最も貧しく、弱い人間となつて世に来て下さったことよって、世に現された出来事です。そのことよって私たちがのりままの現実があがなわれ、闇の深みにまで及ぶ救いが現されたのです。ますます寂しさを増し、孤独を深める季節にあつて、寒々しい馬小屋でお生まれになったイエスを、確かな光として、お迎えしていくことができよう、私たちに与えられた光を、苦しむ人々の心に届けていくことができよう、願い求めていきたいと思ひます。

成31年に、妻は洗礼を授かることができました。林神父様や町田教会の皆様のおかげに感謝しております。私は45年前に大阪の香里教



ラブルとしては、十二月十一日夕方に発生した給水システム不調による全館断水でした。急遽メンテナンス業者とコンタクトして、給水ユニットの技術サービスの方の緊急対応により、分電盤内の劣化した制御電気部品を交換して翌日十二日午前中には復旧することができました。断水している間、司祭館で生活されている神父様、教会関係者およびミサに来られた方々にはたいへんなご不便とご心配をおかけすることになりました。コロナ下に限らず、このようなトラブル対応を通して、問題発生時に関係される方々と協力して早急に対応することの重要性および、経年劣化していく設備に対して適切なタイミングでメンテナンスしていく難しさを改めて認識しました。

最近では新型コロナウイルスの感染状況も落ち着きを見せており、教会活動もすこしずつ動き始めています。教会に来られる方や教会で過ごされる時間も増えることが予想されます。これからも町田教会の皆さまのご意見、ご要望をいただきながら、皆さまの町田教会の建物・設備の整備・管理を円滑に進めていきたいと考えております。今後ともよろしくお願ひします。

### 初聖体おめでとう

小一 大隈 知志

(アルフォンソ・リゴリ)

はじめてごせい体をいただいたからうれしかった。これから日曜日に教会に来て、かならずごせい体をいただきます。

小三 井上 育

(マキシミアナ・マリア・コルベ)

私はゆるしのひせきをうけてもまだ、少しモヤモヤが消えなくて初聖体の日が少し心配でした。でも、初聖体をうけたら体のすみからすみまでイエス様の聖霊がいきわたって、体のしんがとて温かくなりました。初聖体をうけると、「私はもう、神様の家族の一員だ！」と思ってとてもうれしかったです。これからも神様と一緒にがんばっていききたいです。



小三 池松由美香

(シャアラ)

ごせいたいしたいのイエス様、はじめまして。私ははじめてご聖体をいただき、イエス様と心をつなぐことができました。ご聖体は、まるで

天国にいるみたいによろしくてわすれられない気持ちでした。これからもずっと日曜日のミサに通って、こんなたくさんさんの気持ちを味わいたいです。私は、神様、イエス様のいのちのパン、ご聖体は大切な物だと感じました。



小三 李 瑋珩

(ヨハネ)

がんばって、べんきょうして、やつと食べられたので、おいしく感じられました。

たくさんの方が見ていたのでもんちようしたけれどがんばりました。

小四 大家 羽多

(マリア・セシリア)

私は、ご聖体をもらうときとてももんちようしたりどんな味なのかな? と思ったりしたけど、心の中で、神様とイエス様といつもいっしょと考えたらとてもうれしかったです。ご聖体の味はやさしい



### 特別寄稿

### クリスマスを新しく祝う

ペトロの家に在任 小林 祥二神父

私が札幌JOCの専従協力者として札幌教区に派遣された当時の札幌JOCのメンバーは皆、いろいろな面で苦勞し、とても小さい立場に置かれている人たちがばかりだった。私は、一人一人にわりと丁寧なメッセージを綴ったクリスマスカードと、ちよつとした物をプレゼントとして渡した。私は20代から30代の青年たちがあんなに喜んで包みを開け、メッセージを読んでいる姿に驚いた。その中のS君は「生まれて初めてプレゼントというものをもらったよ」と話していた。彼は半年ほど前から働く人の家に来て、JOCの集まりとキリスト教要理の勉強に参加し、12月24日に洗礼を受けた。その教会のクリスマスパーティーの時、彼は私に小さな包みを渡しなが

ら、こんなことを言った。「自分は洗礼を受けた時、本当にイエス様と一緒に生まれ、変わったような気がした。自分は小学生の時、親の暴力と学校のいじめで閉じこもりに入り、中学生の時は3年間1日も学校に行かず、部屋に閉じこもって勉強をしていた。高校は通信教育で卒業し、少しずつ外に出るようになった。人を信頼することができず、心を閉じ、殻に閉じこもって、自分を守ることにしかできなかった。そんな自分が人に喜んでもらうとメガネ屋さんを何軒も回って探したプレゼントがこれです」とそれは私がいつもメガネにつけているようなクサリだった。イエス様が彼の中に確かに生れた。



かんじの味で、かたちは丸、色はうすいページュの色でした。これからイエス様の家族の一員としてがんばりたいと思います。



私は、日本に来て17年になります。現在住んでいる場所には、7年前に引越してきました。

インドのキリスト教徒にとつて、クリスマスは、とても大切なイベントです。

インドでは、人口の多くがヒンドゥー教徒なのですが、祝日と休日は、多様な宗教的背景、民族などをもとに、州ごとや宗教ごとに異なっています。でもクリスマスは、どの州も原則、学校や役所は休日になります。

クリスマスシーズン中は、私達は自宅にクリスマスツリーと馬小屋と飼いの葉桶を飾ります。そして、家の前にスターライトを飾ります。

主の降誕のミサは、12月24



日の夜中24時に行われます。そのミサには、信徒の皆さんがたくさん集まり、一緒に祈りをします。クリスマスには、信徒の皆さんは新しい服を着て、教会に行きます。

ミサ後は、教会で、ホット紅茶やお菓子を信徒のみなさんに配り、楽しい時間を過ごします。そして、サンタクロースが子ども達全員に贈り物を渡します。

近所の友達には、甘いお菓子を配ってお祝いします。

ミサの後、家に戻ると、子供たちはお父さんとお母さんからクリスマスプレゼントをもらいます。そして、家族揃つてのクリスマスケーキ！

昔は、親戚や友達と、お互いにグリーティングカードを送っていましたが、最近では、電話やメッセージャーを使っています。メリークリスマス！と、お祝いの電話をかけて、楽しい会話をします。

クリスマス時期になると、家族そろつて祝うために遠くから自分の故郷に戻ります。

また、親戚が家に集まつて、色々な料理を作つて一緒に食べます。料理は、チキンカレーやマトンカレー、魚のフライ、そしてお菓子やクリスマスケーキなどです。パーティーの最後に、親戚全員そろつて記念撮影をします。

長寿感謝のミサ

塗油の秘跡 (10月31日)



七五三おめでとう

(11月21日)



以前子供たちから贈られた紙の冠をかぶって「王であるキリスト」について語りかける林神父

信者動静

2021年10月～12月

(個人情報のため、削除しています)

**2021年降誕祭と新年のミサ**

「主の降誕(夜半)」のミサ 12月24日(金)

17:00～ } 全ブロック  
 19:00～ } (午前10時のミサはありません。)  
 21:00～ }

「主の降誕(日中)」のミサ 12月25日(土)

9:00～ } 全ブロック  
 11:00～ } (18時30分のミサは主日のミサとなります。)

2022年1月1日(土)元旦 9:00～  
 「神の母聖マリア」のミサ 11:00～  
 (18時30分のミサは主日のミサとなります。)  
 ※12月31日(金)のミサはありません。